

武蔵大永田ゼミ1年生による朗読劇の集い

ALS

(筋萎縮性側索硬化症)

を考える

入場料
500円
学生無料

2021年2月11日(木・休)

午後6時30分開演(開場6時15分) 8時(終了予定)

練馬区生涯学習センターホール

★コロナの感染状況により、中止になる場合があります。事前に下記の問い合わせ先に必ずご確認ください。

- 武蔵大学永田ゼミ1年生による朗読劇 ゼミ生からの報告、永田浩三教授による案内
- お話 岸川忠彦さん(日本ALS協会事務局長)

去年7月、京都のALS(筋萎縮性側索硬化症)の当事者の女性に対する囑託殺人の疑いで、2人の医師が逮捕されました。難病ALSに向き合う中、女性は「安楽死」を求めています。この事件をどう考えればよいのでしょうか。事件の詳細は不明なままです。ただ、ALSの当事者や家族がこの難病とどう向き合っておられるのか、たくさんの声を世の中に発信し続けて来られた事実を知りました。「安楽死」については、日本だけでなく、さまざまな国でこれまで議論が重ねられ、異なった制度があります。現在日本では、ALSの当事者の方の7割が、人工呼吸器を装着せずに亡くなっていけます。

社会とメディアについて学ぶ武蔵大学永田ゼミの1年生12人の学生さんたちが、コロナ禍のなか、ALSの当事者や家族の方たちからオンラインでお話を聞き、多くの書かれたものを讀んだ成果をもとに、オリジナルの朗読劇を完成させました。

朗読劇や報告の後、日本ALS協会事務局長の岸川忠彦さんによるALSの当事者と家族の現状と日本社会の課題についてお話いただきます。

ぜひご参加いただき、この難しい問題を一緒に考えたいと思います。

MAP



西武池袋線練馬駅中央口、都営大江戸線練馬駅 A2 出口より徒歩約 8 分

ご参加に際してのお願い

- ・発熱がある場合、体調が悪い場合は来場をご遠慮ください。
- ・入場の際の検温、手指消毒にご協力ください。
- ・会場内では必ずマスクの着用をお願いいたします。
- ・受付でお渡しする参加者カードに氏名、電話番号等の連絡先をご記入ください。

主催 「ALSを考える」2・11の集い実行委員会・練馬文化の会
お問い合わせ

柏木 kashiwa09autumn@gmail.com 090-8311-6678
轡田 rsc03465@yahoo.co.jp 03-3948-5129